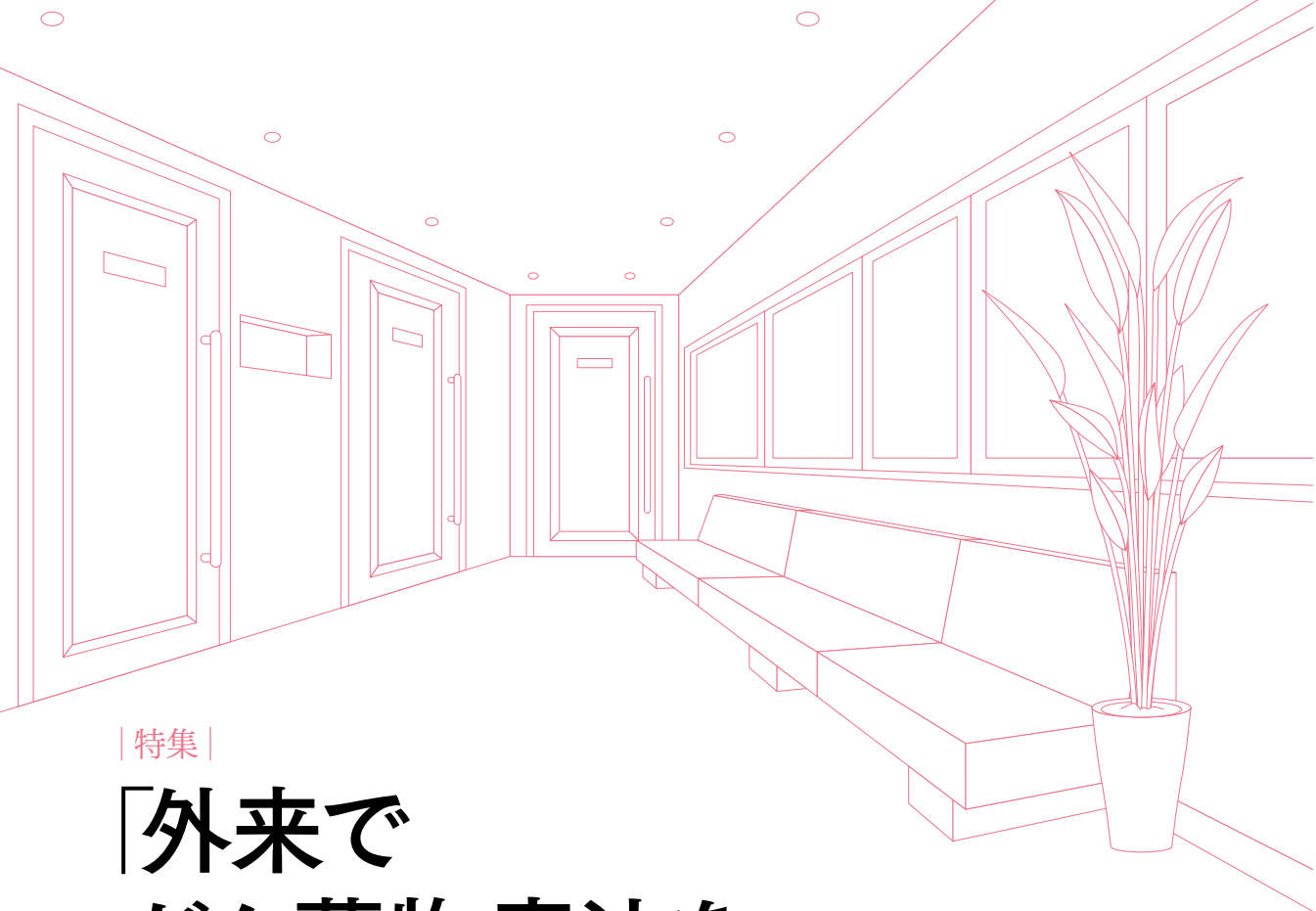




| 特集 |

「外来で がん薬物療法を 受けている人」の 依頼を受けたときに

がん薬物療法が外来で行われるようになったことで、在宅での生活を続けながら治療を受けるがん患者が増えています。その中で、「服薬管理」などの依頼を入り口に、訪問看護が開始されるケースも出てきました。

そのとき。
通り一遍に「依頼内容に沿った対応をすれば十分」という見方も確かにあるでしょう。しかし、がん薬物療法とがんの病態進行の軌道を頭に置いて、「治療とその人の生活を両立させる」という意識を持って関わると、暮らしの見立てやケアの組み立てが変わってきます。

本特集では、「外来で薬物療法を受けている人」のサポートにおいて、訪問看護はどのような役割を果たすことができるのかを学びます。